

首都圏中央連絡自動車道 つくばスマートIC工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書 9 構造物掘削 特殊部A	構造物掘削 特殊部Aの数量は、3,402m3となっていますが、交付図書 図面 橋梁下部工 26/36及び31/36の構造物掘削を合計する $1,959.4\text{m}^3 + 1,627.1\text{m}^3 = 3,586.5\text{m}^3$ となります。見積り単価を算出する場合は3,402m3を採用することでおよろしいでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	図面 橋梁下部工 島名第二橋(内回り)A1橋台仮設工詳 細図及びA2橋台仮設工平面図	鋼矢板切断撤去高さは、舗装上面より60cmの範囲となっていますが、最上部上段の腹起し(H-300)が当たります。鋼矢板切断のためにH形鋼のフランジを切断撤去するか、またはアンカーを緩めて腹起しを撤去するか、どちらで考えればよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
3	特記仕様書 P22 構造物掘削 特殊部 B	区分内容に 4) 鋼矢板の切断・処分となっています。鋼矢板の天端が支障することはないと想われますが、切断範囲をご教授願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
4	特記仕様書 P23 載荷盛土取除き工	区分内容に 3) 含水比調整とありますが、新石下ストックヤードで仮置する場合に実施すると考えてよろしいでしょうか。また、新石下ストックヤードでの敷均し作業は必要ないのでしょうか。	含水比調整については、載荷盛土部掘削後、積込前に実施するものとお考えください。また、新石下ストックヤードでの敷均しについては不要です。
5	図面 つくばSIC 1/51 線形図(全体)	本線北側のCランプ及びDランプの他工区との工区境は、ランプを横断するボックス(裏込め工Bを除く)と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。
6	工事工程表	工事工程表(概略工程表)によると、島名第二高架橋 下部工の施工時期とランプ部の施工時期が同時期となっています。ランプ部は載荷盛土を実施し半年載荷した後に路体盛土となります。構造物掘削 特殊部Aの掘削土は、仮置きが必要と考えられますが、見積りは直接路体盛土ができると考えてよろしいでしょうか。また、仮置きが必要となつた場合は、設計変更と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書24-2-2 客土掘削 土砂Dに示すとおり、載荷盛土部に使用する土砂については、島名ストックヤードから搬出するものとお考えください。